

教科書採択をめぐる最近の動き

安倍首相側近の日本会議のメンバーが、このたびの内閣改造で多数入閣し、下村文科科学大臣を先頭に、教育が今後どんどん右傾化していくことが予想されます。今年の夏までの動きを、子どもと教科書全国ネット21の資料などをもとにまとめてみました。

高等学校では

文科省の教科書検定で合格している実教出版の『高校日本史A』『日本史B』の「日の丸・君が代」の側注の記述が「都教委の考えと異なる」などを理由として2012年東京都や横浜市は実教出版の教科書を排除しました。「日の丸・君が代」については、法案審議の中で、野中広務官房長官(当時)は、「強制すべきものではない」としています。いろいろ意見をもとに高校生が自ら考えていくべきものだと思います。

小学校では

小学校の採択は今年の夏に行われました。小学校では、社会科で特に右傾化した教科書は発行されていません。文科省は、今年1月に検定基準の改定を告示し、次のような内容を出しました。

その後、この流れは神奈川県に広まります。大阪や埼玉では「補強資料」もあわせて使用するならと条件をつけ実教出版も認めています。しかし本来、文科省が検定合格させた教科書を、教育委員会が「二重検定」という不法、不当な教育への介入が行われています。高校では、各校の

(ウ)閣議決定などの政府の統一的な見解、または最高裁判所の判断に基づいて記述せよ。

また、「重大な欠陥」があると判断したら、審査しないで不合格とする。

このようなおどしともとれるものでしたので、各教科書会社は文科省の意をくんで、各社ともに、尖閣諸島、竹島などの紛争中の領土を日本の領土と書かせるられました。今までの小学校の教科書は、領土問題は双方の資料をつけたとしても、小学校の児童が理解できないのではないのかと考えていたので、あえて記述しない方向でした。

今年の夏、各教育委員会で決定した次年度の教科書は下のとおりです。

種目	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	保健
採択地区	光村	東書	日文	帝国	東書	啓林館	日文	教出	開隆堂	東書	学研
和泉市	光村	東書	日文	東書	日文	大日本	学図	教芸	日文	東書	学研
高石市	光村	東書	日文	東書	日文	大日本	学図	教芸	日文	東書	学研
忠岡町	光村	東書	日文	東書	日文	大日本	学図	教芸	日文	東書	学研

中学校では

2016年度から使用の教科書の採択は、来年度に決まります。安倍首相側近の日本会議の意向をつけて、中学校では自由社と育鵬社の教科書が存在します。大阪では、東大阪市で公民の教科書が育鵬社、私立の3校では歴史・公民で育鵬社を現在使用しています。全国的には3〜4%程度です。内容から見て、はつきり「右」の教科書です。

内容は、前回のものを発展させ、アジア・太平洋戦争(第2次世界大戦)は、正義の戦争であった。また、改憲を目指して「愛国心」を強制しようとしています。南京大虐殺はなかった。慰安婦は存在しない。沖縄戦での集団自決は軍の強制ではないとしています。男女共同参画も否定する内容になると予想されます。この危険な教科書が採択される可能性が出てきています。それは、今年6月に教育委員会制度が変更され、首長の教育への介入が可能になったことによります。教科書採択については、首長は口出ししないことになっていますが、保証はありません。

道徳の教科書

文科省は、道徳を「教科」にしようとする動きを強めていきます。「心のノート」をやめ、副読本「私たちの道徳」を各校に本年度から配布しました。「教科」となれば教科書が必要となり、道徳を教えるべく教員免許が必要になってきます。本来心を育てることが大事なのに、徳目に従って国家が価値を押しつけることで、道徳になるのでしょうか。大津のいじめ事件の当該校は、道徳の推進校だったことは教育関係者の常識です。

和泉市では

前回の採択時の2011年の夏に、市議会でも、改正された教育基本法に最も適した教科書の採択を求める決議が可決されました。明らかに右よりの教科書を採択せよとの決議だったので、泉北教組は市民団体と共に署名などの反対運動を進め、教育委員会に1000筆をこえる声を届け、傍聴に取り組みました。結果的に、東書と日文という普通の教科書が選ばれました。ただ、地元出身の国会議員や市会議員の一部に、育鵬社、自由社を選ばせようとする人たちがいますし、来年度に向けての動きに注



採択が心配される育鵬社の教科書

和泉市では

今年6月、教育再生首長会議が70をこえる自治体の長で賛同で結成されました。下村文科相があいさつをし教育基本法の理念・目標を実現するための事業を行うとしていきます。偉人教育、ふるさと教育に力を入れるとしていきます。

この70名の中に、和泉市の辻 宏康市長が入っていることが判明しました。教育委員会の制度がかわって、市長が教育行政に影響してくることは避けられません。右傾化した、かたよった教科書で和泉の子どもたちに勉強させることになってはいけないと思います。

